

## 平成26年度津田沼駅周辺帰宅困難者等対策協議会 帰宅困難者対応図上訓練 実施計画

### 1. 目的

平成26年2月、記録的な大雪により、本市においても帰宅困難者が発生した。  
今後の降雪による帰宅困難者が発生した場合に備え、その対策訓練として、降雪により、津田沼駅周辺に多数の帰宅困難者が発生したと想定し、帰宅困難者支援マニュアルに基づいた情報伝達や関係機関、一時滞在施設の対応等についての手順の確認をし、降雪等の場合でも現行のマニュアルで対応が可能かを検証することを目的として図上訓練を実施する。

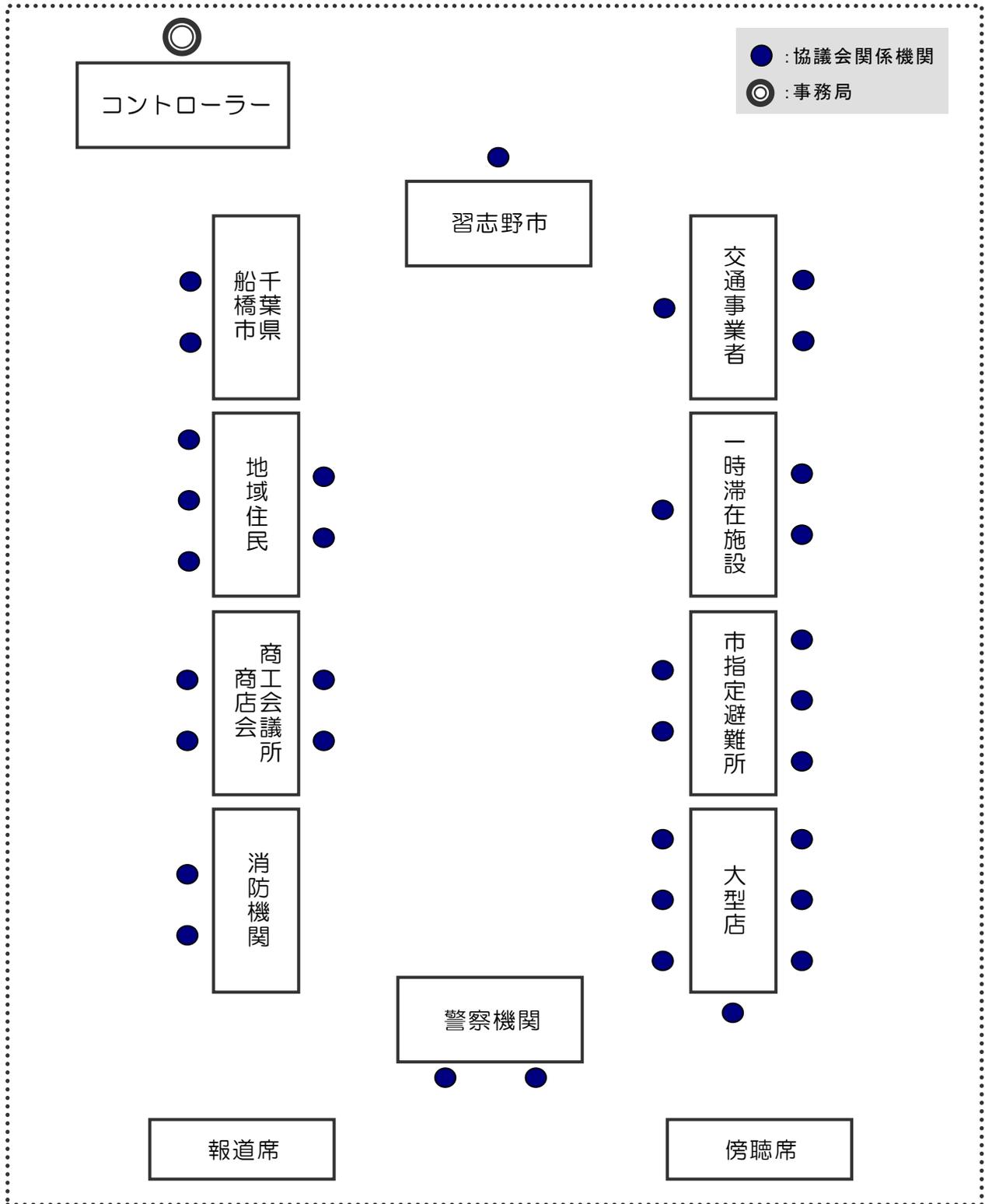
### 2. 実施要領

- (1) 実施日時 : 平成27年2月4日(水) 14時00分から16時00分  
別紙1 時間計画
- (2) 実施場所 : 習志野市消防本部庁舎 5階講堂  
別紙2 会場レイアウト
- (3) 参加者 : プレーヤー：協議会委員(34機関)  
コントローラー：危機管理監以下3名
- (4) 想定 : 別紙3 想定
- (5) 要領 : コントローラーが付与する各状況に応じて、各機関が状況を判断し、対応方針を決め、処置表に基づき発表する。  
別紙4 処置表

別紙 1. 時間計画

順序	実施項目	実施内容	予定時間
1	協議会会長挨拶 (危機管理監)	■挨拶 (訓練の目的など)	3分
2	各機関の自己紹介	■代表者の変更など	5分
3	訓練の説明 (危機管理監)	■実施要領について (映像を含む)	7分
4	市役所の体制の説明 (危機管理課長)	■警報発表に応ずる市役所の体制について	5分
5	図上訓練	1) 第1状況 第2状況 (コントローラー)	約60分 (約30分×2回)
		2) 方針・対応 (各機関)	
		3) 発表 (各機関)	
6	各機関の所見発表 (各機関)	■図上訓練・災害対応について	20分
7	総括 (危機管理監)	■訓練の総括及び終了挨拶	10分
予 備			10分
合 計			120分

別紙2. 会場レイアウト



### 別紙3. 想定

- 想定日時：平成27年2月4日（水）17時時点
- 気象状況：やや強い風を伴った弱い雪（気温0℃、積雪深16cm、北の風10.0m）
- 警報等：風雪・波浪・着雪注意報（9時発表）  
大雪警報（12時発表）
- 道路状況：車両通行不能5箇所
- 人的被害：交通事故による重症者3名、転倒による軽症者10名
- 通信状況：固定電話・携帯（電話・メール）の問題は無
- ライフライン：停電・断水等の問題は無
- 交通機関：総武緩行線・総武快速線・京成本線・新京成線は大雪を見越して間引き運転。昼頃から8割程度、17時頃から6割程度の運行。バスは大幅な遅れが生じている。
- 大型店の様子：混乱の様子はなく、通常通り営業している。
- 行政機関：政府は、13時に大雪対策室を設置  
千葉県は、13時に第1配備（災害対策本部設置前）をとる  
習志野市は、17時に警戒配備（70人体制）をとる
- その他：市内小中・高等学校は、昼過ぎに集団下校としている。  
市内大学は、入試期間中により講義は行われていない。  
幕張メッセでは、2月1日～7日まで国際見本市を開催中であり、ホテルメッツ津田沼は部屋の8割埋まっている状況。

□ 気象の予測：18時より、雪・風ともに強まると予想され、風のピークは21時であり20.0mを越す可能性がある。また、21時までには強い雪が降り、それ以降は弱まるが、日付けが変わるまでに積雪深が40cmとなる可能性がある。

